

令和4年第1回定例会（2月議会）

農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

令和4年2月24日

農 林 水 産 部

目 次

- 1 新ふるさと秋田農林水産ビジョン（案）について〔農林政策課〕 ----- 1
〔別冊資料〕新ふるさと秋田農林水産ビジョン（案）
- 2 ハタハタの漁獲状況と今後の対応について〔水産漁港課〕 ----- 2
- 3 秋田林業大学校における林業トップランナー養成研修の取組状況について
〔森林整備課〕 ----- 4

1 新ふるさと秋田農林水産ビジョン（案）について

農林政策課

「新秋田元気創造プラン」に合わせ、本県の農林水産業及び農山漁村の振興に関する基本計画となる「ふるさと秋田農林水産ビジョン」（案）を取りまとめた。

＜新ビジョンの構成＞

第1編 ビジョンの策定に当たって

■計画の位置付け

- ・「秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例」に基づく基本計画
- ・「新秋田元気創造プラン」を補完し、農林水産業全体を網羅する基本計画

■実施期間：令和4～7年度（4年間）

■農林水産業を取り巻く情勢

■第3期ビジョンの成果と課題、今後の推進方針

第2編 ビジョンの目指す姿

第3編 施策展開

「農業」「林業」「水産業」「農山漁村」の4つの目指す姿を実現するための施策展開

※新秋田元気創造プランの「重点戦略2 農林水産戦略」と同じ施策体系とし、「重点戦略3 観光・交流戦略」や「基本政策」の施策の一部を取り込み構成

第4編 農林水産業の展望

基本フレームとなる「産出額（農業、林業、漁業）」、「農家戸数」、「労働力（農業就業者数、林業従事者数、漁業就業者数）」、「生産基盤（耕地面積等）」の10年後の目指す姿

第5編 経営モデル（営農類型）

他産業従事者並となる農業所得450万円以上、労働時間2,000時間を達成する経営規模、営農類型

- ・営農類型30類型（個別経営体25類型、組織経営体5類型）

第6編 参考資料

用語解説、成果指標一覧

2 ハタハタの漁獲状況と今後の対応について

水産漁港課

1 漁獲量・漁獲金額（令和4年1月31日現在）

- 沖合の漁獲量は、179 t（対昨期82%）で、漁獲金額は、1億6,289万円（対昨期79%）となっている。（漁期：9月1日～翌6月末日）
- 沿岸の漁獲量は、105 t（対昨期55%）で、漁獲金額は、8,749万円（対昨期62%）であった。（漁期：1月15日終了）
- 県全体の漁獲量は、284 t（対昨期69%）で、漁獲金額は、2億5,038万円（対昨期72%）となっている。

【地域別漁獲量・漁獲金額】

| 地 域 | | 漁獲量（t） | | | 漁獲金額（千円） | | |
|--------|-------------|--------|-----|--------|----------|---------|--------|
| | | 今 期 | 昨 期 | 対昨期（%） | 今 期 | 昨 期 | 対昨期（%） |
| 沖 合 | 県 北 部 | 63 | 36 | 174.1% | 50,571 | 31,709 | 159.5% |
| | 船 川 | 32 | 78 | 41.7% | 30,234 | 68,664 | 44.0% |
| | 県 南 部 | 83 | 105 | 79.9% | 82,084 | 104,969 | 78.2% |
| | 計（1/31現在） | 179 | 218 | 81.9% | 162,890 | 205,342 | 79.3% |
| 沿 岸 | 県 北 部 | 79 | 64 | 122.9% | 65,593 | 65,166 | 100.7% |
| | 男鹿北部 | 12 | 26 | 47.5% | 9,915 | 14,884 | 66.6% |
| | 男鹿南部 | 1 | 7 | 12.9% | 1,359 | 8,286 | 16.4% |
| | 県 南 部 | 13 | 94 | 13.5% | 10,623 | 52,205 | 20.3% |
| | 計（1/15漁期終了） | 105 | 191 | 55.1% | 87,489 | 140,542 | 62.3% |
| 合 計 | | 284 | 410 | 69.4% | 250,379 | 345,884 | 72.4% |

※ ハタハタ漁期 沖合：9月1日～翌6月末日、沿岸：11月1日～翌1月15日

※ 小数点以下の端数処理により計などが一致しない場合がある

2 今期の特徴

- ハタハタの組成は、2歳魚が主体で、漁場は、沖合については県北部及び県南部に、沿岸については県北部に形成され、その結果、県北部は昨期より漁獲量が増加したが、その他の地区は減少している。
- 全県的に漁期が遅れた上、時化が多く出漁日数が少なかった。特に、底びき網漁業では、9月から12月までの出漁日数が23日／隻と、過去10年平均（39日／隻）の6割にとどまった。

3 今後の対応

(1) 今期のハタハタ資源の評価

- インターネット販売など系統外流通を含めた正確な漁獲量を把握するとともに、卵塊数や藻場分布などの産卵状況調査を行うほか、北部日本海各県や国の研究機関等と資源に関する情報交換を行い、今期の資源の推計と評価を行う。
- 今年3月の秋田県ハタハタ資源対策協議会において、資源評価結果を報告し、来期の取組の方向性について検討を行う。

(2) 来期の資源管理に向けて

- 上記に加え、千秋丸による試験操業や民間船によるハタハタの漁獲状況のほか、潮流や水温データ等を収集して解析を行う。
- 今年9月の秋田県ハタハタ資源対策協議会において、解析結果等の報告を行い、令和4年漁期の資源管理方法について協議する。
- 協議された資源管理方法について、地区別・漁業種類別に漁業者へ説明を行った後、11月の秋田県ハタハタ資源対策協議会において、令和4年漁期の資源管理方法を決定する。

3 秋田林業大学校における林業トップランナー養成研修の 取組状況について

森林整備課

1 第6期生（令和2年4月入講）の動向

修了生16名全員が県内の森林組合や林業会社に就職することが決定した。

【内訳】

- ・ 森林組合 6名
- ・ 林業会社 10名（うち2名は製材部門）

2 第8期生（令和4年4月入講）の選考状況

定員18名に対し、推薦及び一般選考（前期）の合格者は14名となっている。

【内訳】

- ・ 推薦選考 合格者12名（申込者12名 高校卒業見込者）
- ・ 一般選考（前期） 合格者2名（申込者2名 高校既卒者）
- ・ 一般選考（後期） 選考日：令和4年3月12日（土）

3 今後のスケジュール

(1) 修了式（第6期生）

- ・ 日時：令和4年3月11日（金）10：30～11：30
- ・ 場所：森林学習交流館「プラザクリプトン」（秋田市河辺）

(2) 開講式（第8期生）

- ・ 日時：令和4年4月7日（木）10：30～11：30
- ・ 場所：森林学習交流館「プラザクリプトン」（秋田市河辺）

【参考】就職等の状況

単位：名

| 就職先等 | 第1期生 | 第2期生 | 第3期生 | 第4期生 | 第5期生 | 第6期生 | 合計 |
|----------|------|------|------|------|------|------|----|
| 森林組合 | 5 | 6 | 7 | 6 | 4 | 6 | 34 |
| 林業会社 | 8 | 8 | 6 | 7 | 9 | 10 | 48 |
| 木材加工会社 | 4 | 3 | — | 2 | 2 | — | 11 |
| 住宅資材総合商社 | 1 | — | — | — | — | — | 1 |
| 木材流通会社 | — | — | 1 | 1 | — | — | 2 |
| 秋田県立大学 | — | — | 1 | — | — | — | 1 |
| 計 | 18 | 17 | 15 | 16 | 15 | 16 | 97 |